

天皇杯・皇后杯 2023 年全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部） 実施要項

（※コロナ禍の状況により大会要項が変更される場合がございますのでご承知おきください。）

- (1) 名称 天皇杯・皇后杯 2023 年全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）
 (2) 期 日 2023 年 1 月 23 日(月)～29 日(日)
 (3) 会 場 東京体育館
 JR 中央・総武線「千駄ヶ谷」駅、都営大江戸線「国立競技場」駅 下車徒歩 2 分
 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1 TEL:03-5474-2111
 (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
 (5) 主 管 一般社団法人東京都卓球連盟
 (6) 協 賛 全国農業協同組合連合会、スターツコーポレーション株式会社、日本生命保険相互会社
 (予 定) SMBC コンシューマーファイナンス株式会社
 (7) 用具協賛 株式会社タマス（ボール）
 (8) スポーツ振興助成 一般財団法人上月財団（予定）
 (9) 競技種目 ①男子シングルス ②女子シングルス ③男子ダブルス ④女子ダブルス
 ⑤混合ダブルス ⑥ジュニア男子シングルス ⑦ジュニア女子シングルス
 (10) 試合方法 各種目ともトーナメント方式による。
 男女シングルの第 1 ステージは 11 ポイント 5 ゲームマッチ、第 2 ステージ（ベスト 32 決定戦以降）
 は 11 ポイント 7 ゲームマッチ、他の種目はすべて 11 ポイント 5 ゲームマッチで行なう。
 (11) 競技日程 後日主管団体より連絡する。
 (12) 参加人員 下記表のとおり

表－(1)

加盟団体	男子 単	女子 単	男子 複	女子 複	混合 複
東京（開催地）、愛知	10	10	5	5	5
北海道	7	7	4	4	4
埼玉、静岡、福岡	6	6	3	3	3
神奈川、大阪	5	5	3	3	3
千葉、京都、兵庫	4	4	2	2	2
新潟、長野、岡山、広島、山口、長崎	3	3	2	2	2
青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、山梨、富山、石川、福井、 三重、岐阜、滋賀、奈良、和歌山、鳥取、島根、香川、徳島、愛媛、高知、佐賀、 熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	2	2	1	1	1

表－(2)

加盟団体名	ジュニア男子	ジュニア女子
東京（開催地）、埼玉、千葉、神奈川、静岡、愛知	8	8
北海道、兵庫	7	7
茨城	6	6
福島、新潟、大阪、福岡	5	5
宮城、栃木、群馬、長野、岐阜	4	4
岩手、山形、三重、奈良、岡山、広島、山口、愛媛、長崎、熊本、大分、鹿児島	3	3
青森、秋田、山梨、富山、石川、福井、滋賀、京都、和歌山、鳥取、島根、 香川、徳島、高知、佐賀、宮崎、沖縄	2	2

表－(3) ブロック推薦数（男女シングルスまたはジュニア男女いずれか 1 種目）

	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州
男子	1	2	3	1	1	2	1	1	3
女子	1	2	3	1	1	2	1	1	3

- (13) 参加資格 ①参加者は、2022 年度（公財）日本卓球協会選手登録者でかつ、段級制規程（注 1 参照）に定められた有段者であること。
 ②男女シングルス、ジュニア男女、男女ダブルス、混合ダブルスに出場する選手は日本国籍を有する者とする。但し、ジュニア男女、男女ダブルス、混合ダブルスは下記の各号の 1 つに該当すれば外国籍選手も参加できる。
 (イ) 日本国民であった者の子（養子を除く）で引き続き 3 年以上日本に住所または居所を有する者。
 (ロ) 日本で生まれたもので引き続き 3 年以上、日本に住所又は居所を有するもの。又はその父、母（養父母を除く）が日本で生まれた者。
 (ハ) 引き続き 10 年以上日本に居所を有する者。

(二) 日本国民の配偶者たる外国人で婚姻の日から3年を経過し、かつ引き続き1年以上日本に住所を有する者。

- ③各都道府県代表は本会各都道府県卓球協会（連盟）主催の予選会もしくはその他適切な方法により選出されたものであること。
 - ④日本学生卓球連盟にも登録している者は、大学の登録地もしくは卒業高等学校所在地の2ヶ所からどちらか一方を選択しエントリーすることができる。卒業高等学校所在地より出場を希望する者は、所定の申請用紙に記入し登録加盟団体へ返信用封筒（宛名を記入、切手を貼付）を添えて提出する。登録加盟団体は確認し捺印後申請者へ返却する。申請者は再度それを卒業高等学校所在地加盟団体長宛に提出をする。申請を受けた卒業高等学校所在地加盟団体長は直ちに内容を検討の上、承認した場合はすみやかに申請加盟団体に申請用紙をFAXする事。選手が本大会に出場決定した場合のみ予選会出場した加盟団体より（公財）日本卓球協会事務局へ参加申込書と一緒に本用紙（コピー可）を提出すること。
 - ⑤ジュニアは、2005年（平成17年）4月2日以降に生まれた者であること。（高校2年生以下）
 - ⑥本年度の全日本選手権大会（カデット以下の部）に出場した者でも、都道府県の予選を通過すればジュニア及び一般の各種目に参加することができる。
 - ⑦同一人の同一種目について予選会出場は1ヶ所限りとする。
- ※予選会に出場して通過しなかった選手が、ブロック・日学連・高体連などから推薦されて出場することは容認される。
- ⑧無条件参加選手の取扱い・・・下記表のとおり

	推薦母体	推薦対象大会等	種目および人数
1	日卓協	2022年全日本選手権大会ランキング	男女シングルス・男女ダブルス各ベスト16位まで、混合ダブルス8位まで ・・・それぞれの該当種目に ジュニア男女各8位まで 高校2年生以下・・・ジュニアと一般に 高校3年生 ・・・一般に
2		2022年全日本社会人選手権大会ランキング	男女シングルス各8位、男女ダブルス各4位まで ・・・それぞれの該当種目に
3		2021年全日本（カデット）ランキング	14歳（中学2年）以下の部の男女シングルス各8位まで・・・ジュニアに ※注：13歳（中学1年）以下の部のランキング保持者は、この大会のジュニアへの推薦はない。
4		2022年の全国中学校	男女シングルス各8位まで・・・ジュニアに
5	日本リーグ	*2022年の日本リーグ	男女シングルス各8名、男女ダブルス各4組 ・・・それぞれの該当種目に
6	日学連	*2022年の全日本学生選手権	男女シングルスランキング各8位まで、男女ダブルスランキング各4位まで ・・・それぞれの該当種目に
7	高体連	*2022年の全国高校選手権大会	①男女シングルスランキング各8位までの高校3年生は一般に ②男女シングルスランキング各32位までの高校2年生以下はジュニアに（但し、各16名まで） ③男女ダブルスランキング各4組まで・・・男女ダブルスに

1) 推薦出場の全ての選手は推薦母体にかかわらず必ず各都道府県卓球協会（連盟）を通じて申し込むこと。
 2) 全日本及び全日本社会人等でそれぞれ異なるペアでダブルスの推薦対象となった場合、いずれのペアで参加するかを明示して申し込むこと。
 3) ナショナルチームおよびジュニアナショナルチームに所属する選手が国際大会、海外遠征などで予選会に出場できない場合の取扱いは強化本部規程による。または、強化本部の要請などにより（公財）日本卓球協会が特別に推薦出場を認める場合がある。その場合は当該加盟団体を通じ別途通知する。
 4) ブロック推薦選手には、申込書の備考欄に「ブロック推」と表示すること。

- (14) 競技ルール
- ①現行の日本卓球ルールによる。
 - ②ランキング選手（一般S種目の上位16シード、D種目の上位8シード）はフリー抽選とするが、組合せ全体を通して、所属チームに関する均等配分を優先する原則と、都道府県の均等配分の原則が適用される。但し、ジュニア種目の上位8シードはフリー抽選とせず所属チーム及び都道府県の均等配分を考慮し抽選を行う。
 - ③一般男女シングルスおよびジュニア男女シングルのランキング推薦選手はベスト32決定戦より、ダブルス（混合を除く）ランキング推薦ペアはベスト16決定戦よりスーパーシードとして出場する。但し、推薦選手（ペア）数がスーパーシード枠数を超える場合は、組合せ委員会規程のシード選手優先選出基準に基づき決定する。
 - ④一般男女シングルスでは、ベスト32決定戦からを第2ステージ扱いとする。
 - ⑤テーブルはグリーンもしくはブルーを使用する。

- ⑥使用球は、株式会社タマスのバタフライスリースターボールR40+のみを使用する。
- ⑦ゼッケンは本会が大会期間中に各自に交付した本大会用のものを使用すること。
- ⑧同じユニホームによる対戦を避けるためユニホームを2種類以上持参すること。
- ⑨ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとしてJTTAが公認した接着剤のみを使用すること。
- ⑩全選手を対象とし、その中から無作為にラケット検査を行う。その結果違反が判明した場合その選手は失格となる。

※フロアマットを使用することがある。

(15) 参加料 シングルス 1名 3,000円、ダブルス 1組 4,000円

(16) 申込方法 大会申込システムを使用して申し込むこと。

なお、主管地へはデータを本会より締切日翌日を目安にメールで送付する。

参加料は加盟団体より①現金書留又は②振込にて、(公財)日本卓球協会宛送金のこと。

① 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 Japan Sport Olympic Square
(公財)日本卓球協会 宛

TEL: 03-6721-0921 FAX: 03-6721-0931

② 振込先: みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人日本卓球協会

※送金内訳表は必ず現金書留の場合は同封、振り込みの場合はFAXなどで本会へ送ること。

- ①推薦出場の選手も含め全ての選手は推薦母体にかかわらず必ず各都道府県卓球協会(連盟)を通じて申し込むこと。
- ②卒業高等学校所在地から予選会を経て獲得したものについては、その都道府県から申込み、ランキング推薦で出場する選手は必ず現在登録している都道府県より申込みをする事。
- ③ブロック推薦の選手申込みについては、重複、欠落がないよう十分に注意すること。

(17) 申込締切 2022年11月24日(木)必着のこと。

申込締切日以降は大会申込システムにアクセスできない。締切期日を厳守すること。

(18) 宿 泊 各自お申し込み下さい。

(19) その他

- ①一旦申し込まれた選手の締切日以降の変更は認めない。
- ②やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず本会宛連絡すること。棄権する場合は、理由を付して当該加盟団体長あて文書を持って届け出ること。そして、加盟団体長は、その旨をただちに本会、主管地あてへ指定用紙にて連絡すること。
- ③開会式には原則として全員参加すること。
- ④大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
- ⑤病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参してください。けが等の場合には、可能な応急承知はしますが、各自の責任に帰することとします。
- ⑥個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

- ⑦1. 本競技大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。
- 2. 本競技会参加者(18歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。
- 3. 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯して下さい。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできます。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でもドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。
- 4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。
- 5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意して下さい。
- 6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<https://www.playtruejapan.org>)にて確認すること。

①2022年(2021年度)全日本卓球選手権大会ランキング(申込は都道府県卓から)

男子シングルス				女子シングルス			
1	戸上 隼輔	(東 京)	明治大学	1	伊藤 美誠	(大 阪)	スターツ
2	松平 健太	(千 葉)	ファースト	2	早田 ひな	(福 岡)	日本生命
3	吉村 真晴	(茨 城)	愛知ダイハツ	3	加藤 美優	(鹿児島)	日本ペイントマレッツ
4	丹羽 孝希	(東 京)	スヴェンソンホールディングス	4	木原 美悠	(東 京)	JOCエリートアカデミー/星槎
5	松下 大星	(大 阪)	クローバー歯科カスビズ	5	佐藤 瞳	(大 阪)	ミキハウス
6	吉山 僚一	(愛 知)	愛工大名電高校	6	大藤 沙月	(大 阪)	四天王寺高校
7	上田 仁	(埼 玉)	T.T彩たま	7	木村 光歩	(広 島)	中国電力
8	吉田 雅己	(栃 木)	木下グループ	8	長崎 美柚	(大 阪)	日本生命
9	神 巧也	(埼 玉)	T.T彩たま	9	南波侑里香	(神奈川)	日本ペイントマレッツ
10	大島 祐哉	(神奈川)	木下グループ	10	平野 美宇	(東 京)	日本生命
11	松島 輝空	(神奈川)	星槎中学校	11	石川 佳純	(山 口)	全農
12	張本 智和	(神奈川)	木下グループ	12	森 さくら	(鹿児島)	日本生命
13	鈴木 颯	(愛 知)	愛工大名電高校	13	橋本帆乃香	(大 阪)	ミキハウス
14	谷垣 佑真	(愛 知)	愛工大名電高校	14	安藤みなみ	(愛 知)	TOP名古屋
15	英田 理志	(愛 媛)	愛媛県競対	15	芝田 沙季	(大 阪)	ミキハウス
16	吉田 海斗	(東 京)	専修大学	16	野村 萌	(静 岡)	デンソー
男子ダブルス				女子ダブルス			
1	{	宇田 幸矢	(東 京) 明治大学	1	{	伊藤 美誠	(大 阪) スターツ
		戸上 隼輔	(東 京) 明治大学			早田 ひな	(福 岡) 日本生命
2	{	張本 智和	(神奈川) 木下グループ	2	{	宋 恵佳	(広 島) 中国電力
		森菌 政崇	(東 京) BOBSON			成木 綾海	(広 島) 中国電力
3	{	藤村 友也	(和歌山) 日鉄物流プレイザーズ	3	{	永尾 堯子	(神奈川) サンリツ
		松下 海輝	(和歌山) 日鉄物流プレイザーズ			南波侑里香	(神奈川) 日本ペイントマレッツ
4	{	大島 祐哉	(神奈川) 木下グループ	4	{	石川 佳純	(山 口) 全農
		田添 健汰	(神奈川) 木下グループ			平野 美宇	(東 京) 日本生命
5	{	中村 煌和	(愛 知) 愛工大名電高校	5	{	芝田 沙季	(大 阪) ミキハウス
		萩原 啓至	(愛 知) 愛工大名電高校			大藤 沙月	(大 阪) 四天王寺高校
6	{	後藤 卓也	(東 京) 協和キリン	6	{	長崎 美柚	(大 阪) 日本生命
		渡辺 裕介	(東 京) 協和キリン			木原 美悠	(東 京) JOCエリートアカデミー/星槎
7	{	上田 仁	(埼 玉) T.T彩たま	7	{	野村 萌	(静 岡) デンソー
		神 巧也	(埼 玉) T.T彩たま			森田 彩音	(静 岡) デンソー
8	{	笠原 弘光	(東 京) シチズン時計	8	{	佐藤 瞳	(大 阪) ミキハウス
		酒井明日翔	(東 京) シチズン時計			橋本帆乃香	(大 阪) ミキハウス
	{	濱田 一輝	(愛 知) 愛工大名電高校		{	高橋 梓海	(三 重) エクセディ
		吉山 僚一	(愛 知) 愛工大名電高校			出雲 美空	(三 重) エクセディ
	{	西 康洋	(東 京) 明治大学		{	木村 香純	(東 京) 専修大学
		菅沼 湧輝	(東 京) 明治大学			出澤 杏佳	(東 京) 専修大学
ベ	{	福本 卓朗	(大 阪) 関西大学	ベ	{	麻生 麗名	(大 阪) 日本生命
		永田 悠貴	(大 阪) 同志社大学			皆川 優香	(大 阪) 大阪成蹊大学
ス	{	岡野 俊介	(愛 知) 愛工大名電高校	ス	{	三條 裕紀	(東 京) 昭和電工マテリアルズ
		鈴木 颯	(愛 知) 愛工大名電高校			熊中 理子	(東 京) キャノンメディカル
ト	{	平野 友樹	(東 京) 協和キリン	ト	{	鈴木 李茄	(茨 城) 昭和電工マテリアルズ
		松山 祐季	(東 京) 協和キリン			山本 笙子	(茨 城) 昭和電工マテリアルズ
16	{	篠塚 大登	(愛 知) 愛工大名電高校	16	{	菅澤柚花里	(大 阪) 四天王寺高校
		谷垣 佑真	(愛 知) 愛工大名電高校			中森 帆南	(大 阪) 四天王寺高校
	{	松山 佳樹	(埼 玉) 法政大学			黒野 葵衣	(東 京) 早稲田大学
		野崎 蓮	(埼 玉) 法政大学			中島 彩希	(東 京) 早稲田大学
	{	坂根 翔大	(大 阪) 関西卓球アカデミー			加藤 亜実	(東 京) 専修大学
		各務 博志	(大 阪) 関西卓球アカデミー			船場 清華	(東 京) 専修大学
混合ダブルス				ジュニア男子			
1	{	張本 智和	(神奈川) 木下グループ	1	吉山 僚一	(愛 知)	愛工大名電高校
		早田 ひな	(福 岡) 日本生命	2	松島 輝空	(神奈川)	星槎中学校
2	{	吉村 真晴	(茨 城) 愛知ダイハツ	3	鈴木 颯	(愛 知)	愛工大名電高校
		鈴木 李茄	(茨 城) 昭和電工マテリアルズ	4	三木 隼	(山 口)	野田学園高校
3	{	田添 健汰	(神奈川) 木下グループ	5	坂井 雄飛	(愛 知)	愛工大名電中学校
		張本 美和	(神奈川) 木下アカデミー	6	岩井田雄斗	(山 口)	野田学園高校
4	{	宇田 幸矢	(東 京) 明治大学	7	徳田 幹太	(山 口)	野田学園高校
		木原 美悠	(東 京) JOCエリートアカデミー/星槎	8	飯村 悠太	(山 口)	野田学園高校
5	{	五十嵐史弥	(東 京) 早稲田大学				
		杉田 陽南	(東 京) 早稲田大学				
6	{	坂根 翔大	(大 阪) 関西卓球アカデミー				
		塩見 真希	(大 阪) ミキハウス				
7	{	篠塚 将人	(東 京) 協和キリン				
		森田 彩音	(静 岡) デンソー				
8	{	前出 陸杜	(三 重) 高田高校				
		出雲 美空	(三 重) エクセディ				
				ジュニア女子			
				1	木原 美悠	(東 京)	JOCエリートアカデミー/星槎
				2	張本 美和	(神奈川)	木下アカデミー
				3	由本 楓羽	(大 阪)	香ヶ丘リベルテ高校
				4	面出 凜	(岡 山)	山陽学園中学校
				5	原 芽衣	(大 阪)	四天王寺高校
				6	青井さくら	(高 知)	明徳義塾中・高
				7	赤江 夏星	(大 阪)	香ヶ丘リベルテ高校
				8	首藤 成美	(福 岡)	希望が丘高校

② (2022年) 第56回全日本社会人卓球選手権大会ベスト8 (男女ダブルスベスト4) (申込は都道府県卓から)

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()
男子ダブルス		女子ダブルス	
1 {	()	1 {	()
	()		()
2 {	()	2 {	()
	()		()
3 {	()	3 {	()
	()		()
4 {	()	4 {	()
	()		()

③2021年全日本 (カデット14歳以下の部) ランキングよりジュニアへの推薦 (申込みは都道府県卓から)

14歳以下男子シングルス				14歳以下女子シングルス			
1	吉山 和希	(愛知)	愛工大名電中学校	1	青木 咲智	(大阪)	ミキハウスJSC
2	谷本 拓海	(兵庫)	神戸市立兵庫中学校	2	吉本 はな	(大阪)	貝塚第二中学校
3	面田 知己	(福岡)	石田卓球クラブ	3	松元 菜音	(北海道)	留萌モンスターズ Jr
4	木村 友哉	(山口)	野田学園中学校	4	小塩 悠菜	(神奈川)	星槎中学校
5	矢吹 淳	(京都)	YHGアスリートクラブ	5	山室 早香	(熊本)	城山ひのくにジュニア
6	杉浦 涼雅	(愛知)	愛工大名電中学校	6	面出 凜	(岡山)	山陽学園中学校
7	山岸 駿	(新潟)	直江津東中学校	7	島村 果怜	(神奈川)	横浜隼人中学校
8	森 眞奈斗	(福岡)	石田卓球クラブ	8	久富 瑠夏	(熊本)	ヒゴ鏡卓球クラブ

④ (2022年) 第53回全国中学校卓球大会 ランキング (申し込みは都道府県卓から)

男子		女子	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()

⑤2022年の日本リーグ実業団連盟からの推薦（申し込みは都道府県から）

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()
男子ダブルス		女子ダブルス	
1 {	()	1 {	()
	()		()
2 {	()	2 {	()
	()		()
3 {	()	3 {	()
	()		()
4 {	()	4 {	()
	()		()

⑥（2022年度）第89回全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）よりの推薦（申し込みは都道府県から）

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()
男子ダブルス		女子ダブルス	
1 {	()	1 {	()
	()		()
2 {	()	2 {	()
	()		()
3 {	()	3 {	()
	()		()
4 {	()	4 {	()
	()		()

⑦2022年の第91回全国高等学校選手権大会よりの推薦（申込みは都道府県卓から）

（注） J：ジュニアに推薦 ★：一般・ジュニア共推薦対象にならない選手

男子シングルス		女子シングルス	
J 1	()	J 1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
J 4	()	J 4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
J 7	()	J 7	()
8	()	8	()
★9	()	★9	()
★10	()	★10	()
J 11	()	J 11	()
J 12	()	J 12	()
★13	()	★13	()
★14	()	★14	()
★15	()	★15	()
★16	()	★16	()
ベスト32 (2年生以下) (上記ジュニア推薦人数とあわせて16名まで)		ベスト32 (2年生以下) (上記ジュニア推薦人数とあわせて16名まで)	
Jベ	()	Jベ	()
Jス	()	Jス	()
Jト	()	Jト	()
J32	()	J32	()
J	()	J	()
男子ダブルス		女子ダブルス	
1 {	()	1 {	()
2 {	()	2 {	()
3 {	()	3 {	()
4 {	()	4 {	()

注1) 段級制規程要約

段位取得について（平成4年3月の理事会・評議員会で承認された等級制（現段級制）規程改正に基づく）

- ①全日本社会人選手権大会 ②全日本選手権大会（マスターズの部）
③全日本選手権大会（一般・ジュニア） ④全日本選手権大会（団体の部） ⑤全日本実業団選手権大会

上記5大会に出場する者は、規程に基づく下記の段位を必ず取得していなければならない。この規程を無視した者は出場が取り消される場合があるが、翌年度の同一大会への参加はできない。ただし、全日本選手権（マスターズの部）の70歳以上の種目については、下記の規程によらず、有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。

段位取得規程要約（平成元年以降）	
(ア) 初出場者	初段
(イ) 同一大会3回目出場者	2段
(ウ) 同一大会5回目出場者	3段
(エ) 上記①及び③大会（一般）単または複ベスト16入り経験者	4段
(オ) 上記①及び③大会（一般）単または複ベスト4入賞経験者	5段
(カ) 上記①及び③大会（一般）単または複の優勝者	6段

※段位の申請につきましては、その年度に登録されている都道府県協会（連盟）を通じてお申込みいただきますようお願いいたします。